

付 け て み ま せ ん か

課題句

中日新聞・東京新聞コラム特別募吟



ばったり会った人ごみのなか めじろ

ばったり会った人ごみのなか

めじろ

この七七句をよく読んで、思い浮かぶことを五七五句にして付けてください。誰に会ったのかな？

(ばったり会った人ごみのなか)

例1 三年もほくはメールを待ちつづけ

アトム

恋句大歓迎。自分の思いを句にしましょ。経験でなく想像でOK。二人の今後の展開は？何か食べに行く？二句で小説やマンガの場面を作りましょ。

(ばったり会った人ごみのなか)

例2 誰なのよ彼の隣のロンゲヘア

水飴

会った相手は知人？有名人？誰でも自由に想像して。服装、髪型、特徴など具体的に。爆笑句も歓迎。

(ばったり会った人ごみのなか)

例3 ハート型打ち上げ花火輝いて

ミルクィ

場所はどこ？背景を書くだけで物語ができます。季語も使い、その日の空や海、自然界の美しい風景もぜひ。

(ばったり会った人ごみのなか)

例4 マンホールふたからのぞく大とかげ

KKK

相手は動物、虫、妖怪変化、宇宙生物でも。ニユースを句にすると時事句です。アイデア勝負。詩人は抽象世界に飛翔して。脳の体操がんばれー！

(ばったり会った人ごみのなか めじろ)

付け句(五七五句)

作者名

(本名)

学校名

学年

組

先生のお名前

付け句とは？・・・誰かの句に誰かの句を付ける！

日本の伝統文芸の連句(俳諧連歌)は、誰かの句に誰かが付けるコミュニケーション文芸です。原則として五七五句(長句)に七七句(短句)を、七七句には五七五句を付けます。

今年で十七年目を迎える中日新聞・東京新聞連載(木)『付けてみませんか』(矢崎藍・桜花学園大学客員教授)は、前句を出題して読者の付け句を楽しむコラムです。

桜花学園大学はこのコラムとタイアップして、第5回全国高校付け句コンクールを行います。ぜひ楽しみながら挑戦してみてください。

専門学校・中学校からのご応募も歓迎です。

特賞(8)秀逸(20)には表彰状と副賞の図書カード付き。入選・優(50)入選(100)には表彰状。

付け句の原則

1 今回の付け句は五七五句です。五・七・五は声を出したときの音数です。

- 写真 しやしん(3音)
- 先生 せんせい(4音)
- さつき のしらせ(7音)
- プラットホーム(7音)

2 前句(前の句)とワンセットで読みますから、原則として前句と同じ言葉(ばったり・会った・人ごみ)を重ねないように。

友達と見せ合い相談し合って付け句を楽しみましょう！

上の応募用紙一枚に三句まで書けます。

作者名はペンネームOK!

本名も必ず書いてね。

